取扱説明書

保管用

（Y154A）A

yamada

白熱灯ガーデンライト

（防雨型、スパイク式）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取付説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取付説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取付説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　番	適合ランプ
AE-2323	E17 S形　ミニクリプトン球　40W以下×1
AE-2324	

この取付説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

スパイク式

●スパイクは土壌のしっかりした所へ設置してください。
●砂地などの土壌の柔らかい場所に設置する場合は、コンクリート等でスパイクの埋め込み部分を補強してください。
●G.Lまで埋め込んでしっかり固定してください。

⚠警　告

❗ 痛んだコード（被覆の傷や芯線の露出など）はそのまま使用せず、ただちに電気店に交換をご依頼ください。
★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。

⃠ 一般屋外用器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、腐食性のガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないで下さい。
★いずれの場合も器具の転倒、落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 次のような場所には取り付けないでください。
●地中差込以外の場所　　●地盤の弱い場所
★いずれの場合も器具の点灯などによる破損やケガの原因となります。
●雨水が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所への使用
★防水性が損なわれ、器具の破損による器具漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ 取付方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしてがって正しい方向にとりつけてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「ケガ」の原因となります。

⃠ ドライバーなどの異物は差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⃠ 濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注　意

❗ ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

❗ 接地（アース）工事は法規で定められていますので、必ず行ってください。

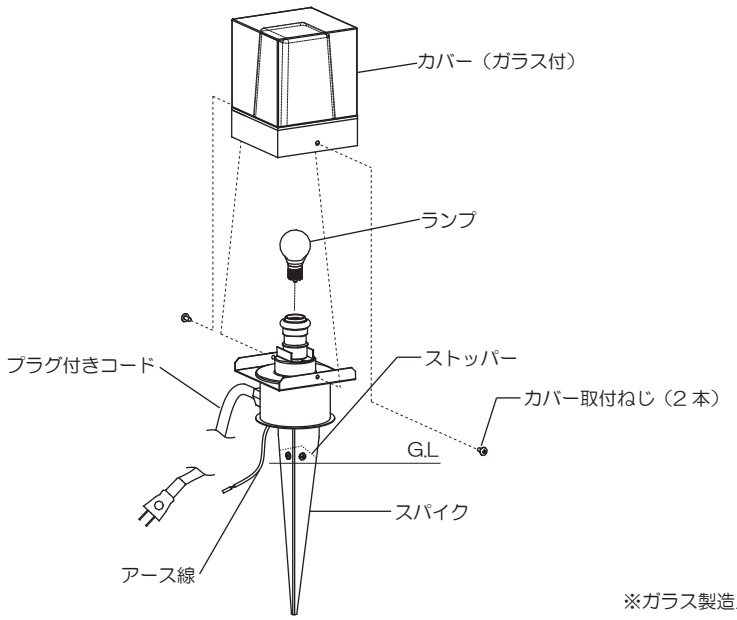
⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

⃠ ヒビの入ったカバーや、一部欠けたカバーは使用しないで下さい。
★カバーの破損、落下の原因となります。

各部の名称

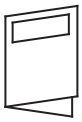
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■器具構成図



■ 付 属 品

E17 S形 ミニクリプトン電球
40W（ホワイト）・・・・1個



取付説明書（本紙）・・・・・・・・・・・・1枚
保証とアフターサービス（別紙）・・・・・1枚

※ガラス製造上、若干の形状変形や泡の混入があることがありますが、不良ではありません。

取付け場所の確認

⚠注　意

土壌のしっかりした所へ取り付けてください。
　砂利等の土質の柔らかい場所に埋め込む場合は、埋め込み部をしっかりと補強してスパイク部を固定してください。

★土質の柔らかい場所や不安定な所へ埋め込むと器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

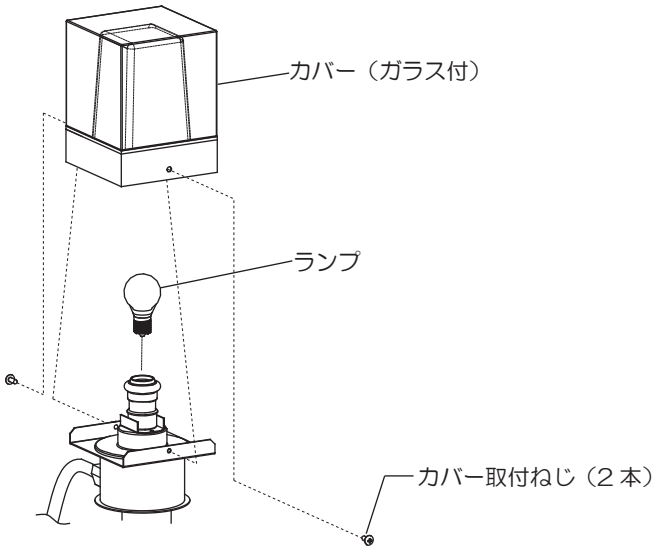
★G.L まで埋め込んでしっかり固定してください。
　器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

取り付け方　⚠ 注意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警　告❗

器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

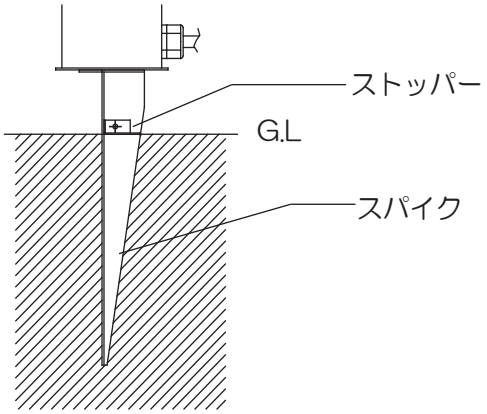
（図１）



1. 器具を取り付ける前に（図１）

●カバー取付ねじ（２本）を、取り外してカバー（ガラス付）とランプを取り外してください。

（図２）



2. スパイクを取り付けます。（図２）

●スパイクはストッパーの位置まで確実に埋め込んでください。

⚠ 警　告 ❗しっかりと埋め込まれたかを確認してください。
★埋め込みが不十分な場合、器具の転倒による破損焼損の原因となります。
❗ストッパーの位置より上までは埋め込まないでください。
★埋め込みすぎた場合、器具の機能を損ない故障の原因となります。

3. アース線を接続します。

●必ずＤ種（第３種）接地工事を施してください。
●Ｄ種（第３種）接地工事は電気設備基準に従って確実に行ってください。
★不良の場合、感電、漏電の原因となります。

4. ランプをソケットにセットします。（図３）

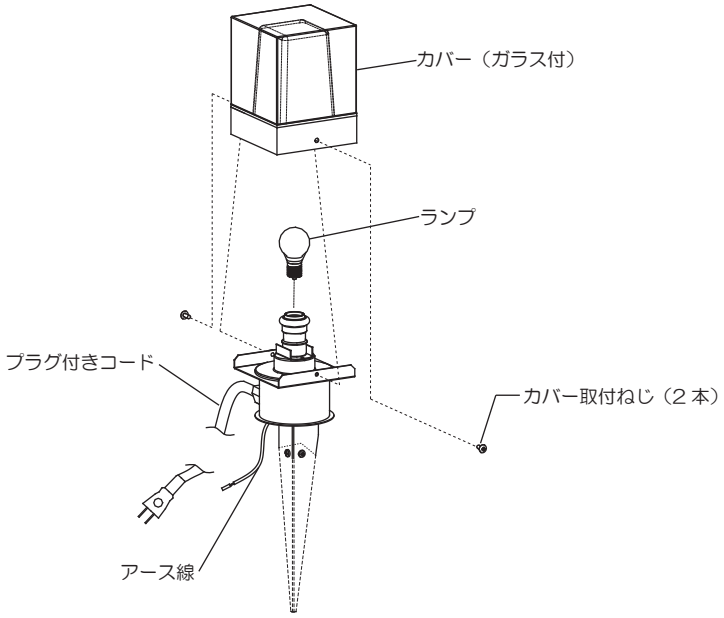
●ソケットに取り付けて下さい。

⚠ 注　意 ●ランプは乱暴に扱わないで下さい。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

5. カバーをセットします。（図３）

●カバー（ガラス付）を本体のねじ孔に合わせ、カバー取付ねじ（２本）で均等に締めこんでください。

⚠ 注　意 ●ヒビの入ったカバーや、一部欠けているカバーは使用しないでください。ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの破損、落下事故の原因となります。



（図３）

スイッチ操作

プラグの抜き差しによって ON-OFF 操作を行います。

⚠ 警　告 ❗プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
★コードを引っ張るとコードを傷めて、感電事故や、ショートによる火災の原因となることがあります。

❗プラグは防水仕様になっていません。
軒下・屋内等の直接雨のかからないコンセントから電源をとってください。
★感電事故の原因となります。
●プラグのコードは人の通る場所では露出しない様にしてください。
★コードを引っ掛け、ケガ、コードの切断の原因となります。
●長時間使用しない場合や、ランプ交換時はコンセントを抜いてください。

お手入れについて　⚠注 意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注 意

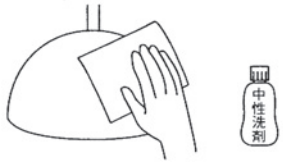
●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

■お手入れのしかた

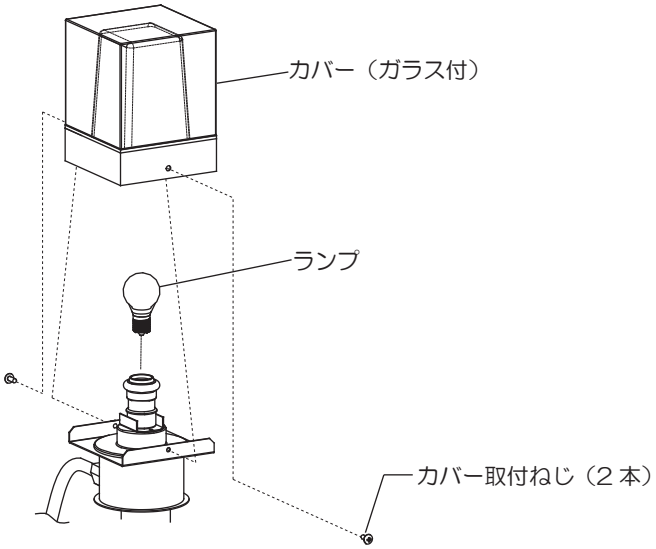
1．電源を切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

ランプの交換



1．スイッチを切ります。
⚠注意　●ランプ交換時、濡れた手でさわらないでください。
★感電事故の事故の原因となります。

2．カバーをはずします。
●カバー取付ネジ（２本）をはずして、カバー（ガラス付）を取り外してください。

3．ランプを交換します。
⚠注意　●ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。

4．カバーを取り付けます。
●「取り付け方」の「5」をご参照ください。